4　第三次福山市教育振興基本計画

【基本理念】

将来の予測が困難な「VUCA」※1と言われる時代の中で、激しい変化が止まることのない社会を生きるこどもたちには、社会の持続的な発展に向けて、学び続ける力、新しいものを創り出す創造力、他者と協働して問題を解決する力等が今後一層求められています。

このような中、国は、2023年（令和5年）に第4期教育振興基本計画を策定し、「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を教育の目標に掲げました。また、県は、「一人一人が、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造する人づくりの実現」を目指し、就学前教育から高等教育・生涯学習を通じた、全県的な「学びの変革」を進めています。

2020年度（令和2年度）から段階的に実施されている学習指導要領では、学校教育で育むべきこどもたちの資質・能力を「①実際の社会や生活で生きて働く『知識及び技能』」「②未知の状況にも対応できる『思考力、判断力、表現力等』」「③学んだことを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力、人間性等』」の3つに整理しています。

こどもたちが生きる将来が、変化の激しい先行き不透明な社会であることを踏まえれば、この3つの資質・能力を、バランスよく、着実に育んでいく必要があります。

併せて、こどもたちは、本市、そして世界の未来の担い手であり、「地域に根差した心」（ふるさとへの愛着と誇り、ローズマインド※2など）と、世界が直面する様々な課題を自分事としてとらえる「国際的な視野」の双方を育んでいくことが重要です。これは、「SDGs※3未来都市」としての本市の責務でもあります。

このような基本理念のもと、本計画では、就学前教育、学校教育、生涯学習・社会教育、文化財保護の各施策を、体系的・計画的に取り組んでいくこととしています。

教育は「未来づくり」であり、学校は「こどもたちが、ともに成長する場」です。
こどもたち一人ひとりの成長を促し、可能性を引き出し、伸ばしていくことは、教育に携わる者の使命であり、そして、そのような姿を見られることは、教育に携わる者の最大の喜びです。

私たちが目指すのは「すべてのこどもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現」です。これまでの取組も踏まえ、学校と教育委員会が一体となり、家庭や地域と連携しながら、着実に「未来を切り拓く教育」を進めていきます。

【計画期間】

2022 年度（令和 4 年度）～ 2026 年度（令和 8 年度）の 5 年間

（2025年（令和7年）7月改定）

※1　Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字をとり、先行き不透明な予測困難な時代を言い表したもの。

※2　福山の戦後復興から半世紀の歩みの中で誕生し、根付いた言葉で、「思いやり 優しさ 助け合いの心」を表している。

※3　Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。2015 年（平成 27 年）9 月の国連サミットで採択された 2030 年（令和 12 年）までの世界共通の目標。地球上の誰一人取り残さないことをめざし、世界が達成すべき 17 の目標で構成される。

【施策体系】

基本目標	基本施策	目指す姿（5年後の姿）
≪就学前教育≫		
心豊かにたくましく 生きる力を育てる 教育・保育の推進	学びの芽生えを育む 遊びの充実	●こどもたちは、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に向かって主体的に生活や遊びを進めている。 ●こどもの育ちと学びが、就学前から学校教育へ、切れ目なく、続いている。
≪学校教育≫		
学びに向かう力・ 学び続ける力を育成 する学校教育の推進	主体的・対話的で深い学びの推進	●個に応じた指導・支援の充実などにより、こどもたちに「確かな学力」が定着している。
	多様な学びの場の充実	●こどもたちは、自分に合った学び方を選択し、学ぶ意欲を発揮できている。
	学びをつくる教職員 研修の充実	●教職員は、「学びのメカニズム」への理解を深め、こどもの学びを促す実践力が高まっている。
	教職員が元気・笑顔で勤務できる環境の充実	●教職員は、個性を発揮しながら、こどもたちとともに自ら挑戦し続けている。
	こどもの学びを支える 教育環境の整備	●すべてのこどもたちの学習機会が保障され、学校は安全・安心な居場所となっている。
≪生涯学習・社会教育≫		
新しい時代の学びや 地域づくりを支える 生涯学習の推進	社会教育の充実	●多くの住民が、世代を超えて学び合い、様々な人々と協働する中で、主体的に地域づくりに取り組んでいる。 ●図書館が地域の情報拠点として活用され、市民の暮らしに役立ち、生活を豊かにしている。
	知りたいを支える 図書館サービスの充実	
≪文化財保護≫		
福山の誇りを次代へ つなげる文化財の 保存と活用	文化財の調査と保存	●福山の歴史文化とその価値を誰もが知り、触れ、学び、愛着と誇りを持ち、文化財を地域・社会全体で大切にしている。
	地域と一体となった 文化財の活用	